

様式1

令和4年度 学校評価表

<b>学校教育目標</b> 確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく、ともに学ぶ児童の育成 ～チーム・感謝・挨拶～	
<b>a ミッション</b> ○ 中学校区で取り組む自己肯定感の向上による教育の推進	<b>a ビジョン</b> ○ 「自ら学ぶ子」「ともに学ぶ子」を育てる学校 ○ 通ってよかった・通わせてよかったと実感できる安心・安全な学校 ○ 児童が憧れ頼れる教職員を育成する学校

尾道市立久保小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値	度達成	評価		イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成	主体的に学ぶ力の育成	○算数科を中心に「ほめ」と「対話」のある授業を実践する。 ・算数的な見方・考え方をほめる。 ・主体的な態度をほめる。 ・児童同士の関わりのある場を設ける。	○学期末のテストとまとめプリントにおいて、クラスの平均点を、目標値（低学年90%・高学年80%以上）にする。 ○標準学力調査（12月）において、クラスの平均点を全学年平均以上にさせる。 ○主体性に関するアンケートを、目標値以上（4段階評価の内、3以上の評価をした児童80%以上）	<平均目標値> 1年生：90 2年生：90 3年生：90 4年生：80 5年生：80 6年生：80 学校6校 510 <標準学力調査> 12月に実施 <主体性に関するアンケート> 4段階評価の内、3以上の評価をした児童80%以上										
豊かな心と体の育成	対話を通じたコミュニケーション能力の育成	○「久保のこだわり」を実践する。 ※「久保のこだわり」とは、ていねいな言葉遣いについて、指標に表したものである。 ・「久保のこだわり」を徹底指導する。 ・アンケートの実施 ・言葉遣い名人の選出 ・久保のこだわり名人殿堂入りの認証 「言葉遣い名人」延べ3回選出された児童	○アンケートで肯定的な回答をした児童の割合 ・肯定的な回答をした児童÷全校児童数×100	85										
	自己の体力を伸ばす子供の育成	○久保小アスリート検定（なわとび）を実施する。 1 各学年の体力に応じたレベルに挑戦させる。 ・体育科の授業のうち運動場で行う場合になわとびに取り組み。 ・期間を設けて、期間内に週1回大休日に全校でなわとびに取り組み。 2 運動をすることが好きな児童を育てる。	1 各学年の目標をクリアした児童の割合を目標値以上にさせる。 ・各学年でクリアした項目の総数÷（項目数×実施した人数）×100 2 運動好きに関するアンケート調査を行い、初回の値と比べて維持または向上した児童の割合を目標値以上にさせる。	1 80 2 80										

久保中学校とともに

と校もづく学ぶ学校	小・中学校が同じ場所で学ぶ良さを生かし、自己肯定感・自己有用感の育成を図る。	愛護を通じた達成感・自己肯定感の育成	児童・生徒・教職員による「朝の（スマイルアクション）グリーティング（SAG）」の実施	朝、中学生に（アクション）をつけて笑顔で挨拶ができたことと実感できた児童	50									
-----------	--	--------------------	--	--------------------------------------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【自己評価 評価】  
 A：100≦（目標達成）  
 C：60≦（もう少し）<80  
 B：80≦（ほぼ達成）<100  
 D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。